

教科目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育む

言語活動の充実

社会的な見方や考え方を養うことをより一層重視する観点に立って、社会的事象の意味、意義を解釈する学習や事象間の特色や事象間の関連を説明するなどの学習を一層充実する。

仮説を立てて追究し、その結果を白地図にまとめる事例

1 学年 第1学年

2 単元名 オセアニア

3 単元の目標

オセアニアに関わる学習課題について、多面的・多角的に追究・考察し、州の地域的特色を理解するとともに、捉えた特色を適切にまとめ、表現する。

4 言語活動の充実の視点

視点1： 課題解決に必要な情報を収集し、客観的な根拠に基づいて自分の考えをまとめ、グループで話し合う。その結果を、発表し合い学級全体で共有する。

視点2： 学んだことを白地図などに表現し、発信する。

5 主な学習活動（全6時間）

	学習活動
つかむ(2)	・学習課題の背景となるオセアニアのあらましについて、資料を基に自分の言葉でまとめたり、地図に表現したりする。
調べ追究する(2)	・移民の出身地や貿易相手国の変化の統計資料の読み取りから、アジアとの結びつきを強めている事実を理解する。 ・既習事項を基に、地図や統計資料を活用して学習課題に対する仮説を立て、客観的資料根拠に論理的に説明する（少人数グループ）。 視点1
解決深化する(1)	・地図や資料を活用し、仮説を説明する。 ・他グループの意見を聞き、仮説の修正を図る。 ・学級全体で仮説を修正し、学習課題を解決する。
まとめる(1)	・オセアニア州の特色を的確に表すキャッチフレーズを考え、白地図に工夫して表現する。 視点2

育成する資質や能力

- 「世界の諸地域」の学習では、人々の生活と関連した主題を設定し、地誌的な学習を通して各州の地域的特色を理解させることが求められています。地域の課題や解決策について意見交換できる能力を育成しましょう。

言語活動の充実のポイント

- 個人の意見を基に少人数で話し合い、適切と思われる仮説をワークシートにまとめ、それを基に発表会を行い、学級全体で共有する学習などを充実させましょう。
- 言葉や文章のみの表現だけでなく「地図やグラフを活用しての説明」、「イラストや関係図を書いた説明」など、表現のさせ方を工夫しましょう。

評価の観点

- 社会的事象から課題を見だし、その意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察した過程や結果を適切に表現しているかを評価することが大切です。